

Press Release(R2/12/8)

岐阜大学講義「景観デザイン」(工学部社会基盤工学科)において、 学生による市庁舎跡地利用のデザイン提案 公開発表会を開催します

12月17日(木)10時00分から、柳ヶ瀬のロイヤル劇場ビル2F、やながせRテラス(岐阜市にぎわいまち公社)にて、岐阜大学工学部社会基盤工学科の学生が市庁舎跡地利用のデザインを題材にした、公開発表会を実施します。

本学工学部社会基盤工学科の2年生17名5チームが、「景観デザイン」の講義(担当教員:出村嘉史(でむら よしふみ)准教授)を受講し、「景観とはなにか」「景観の構造」「人の集まる空間のデザイン」「色彩計画」「都市の魅力と問題」などについて学習し、最終課題として、「岐阜市にとって重要な位置付けにある庁舎跡地(本庁舎または南庁舎)とその周辺を対象に、これからの岐阜にとってよりよいエリアへ再編する」ために必要な場所の空間デザインを考え、プレゼンテーションを行います。

つきましては、当日の取材についてよろしくお取りはからい願います。

記

日時 12月17日(木)10:00~12:00

会場 やながせRテラス(〒500-8876 岐阜市日ノ出町1-20 ロイヤル劇場ビル2F)

対象 一般(自由公開)

発表者 岐阜大学工学部社会基盤工学科 学生17名(2年生)

- 学生は、基本的に3人1組のグループ演習として取り組んでいます。
- 学生は、10月初めより、発表に向けた取り組みをはじめています。講義は主として、やながせRテラスで実施しており、11月12日(木)には、講義として実見調査を行い、実況把握やヒアリング調査を通して、デザインに取り組む際の視点、課題探しを行いました。
- 発表をまちに対して公開するのは、学生にとって、リアリティと責任を感じつつ提案を構想することができるという教育効果と、それらの提案をきっかけにして多くの人々がまちの将来について関心を寄せることを期待しています。

【本件に関する問い合わせ先】

岐阜大学工学部社会基盤工学科 准教授 出村 嘉史

TEL: 058-293-2446

E-mail: demu@gifu-u.ac.jp